

女性のための再就職支援事業【鹿児島県】

個別事業費	1,307 千円
交付金額	654 千円

地域の実情と課題

少子高齢化に伴う生産年齢人口が年々減少している中、既に多くの職種で労働力不足が顕在化しており、活力ある社会を実現するには女性の活躍が期待されている。仕事と育児の両立等に関する実態把握のための労働者調査(令和4年)によると、妊娠・出産・育児のタイミングで離職した女性(離職前正社員)のうち、約5割の女性が就労継続を希望していたにもかかわらず離職している。さらに、妊娠・出産・育児を機に離職した女性(離職前正社員)について、約9割が子が小学校に入学するまでに再就職の意向を有している。

事業の特徴

働きたい女性が再就職のために必要としている知識を提供すること、再就職への不安を解消することをテーマとするセミナーを実施することで、女性の就職促進を図る。

令和7年度事業では、仕事と子育ての両立がしやすい「テレワーク」をテーマに、入門セミナーと実践講座を実施し内容の差別化を図った。入門セミナーでは、テレワーカーとして働くための準備や先輩テレワーカーの体験談を紹介するなど、テレワーカーという就労形態を広く具体的にイメージしてもらうことを目的とし、実践講座では、実際にOffice等を活用しスキルを身につけてより再就職につなげるような実践的内容となっている。

事業の効果

受講後のアンケートでは、受講者の9割以上が「今後のテレワークで役に立つ」、「テレワークへの不安が軽減された」と回答した。

また、受講者は子育て中の女性が多いこと、さらに本県は離島地域が多いことから、自宅から受講が可能な全オンラインでの実施は好評であった。

なお、入門セミナー受講後3か月の時点で、再就職(就職)率は45%となった。

目的・目標

セミナー受講により、離職していた女性のスキル向上を図り、再就職(就職)につなげることを目的とする。

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業KPI	令和5年度女性のための再就職支援セミナー受講3か月後アンケート回答者のうち就労している者の割合	53.3% (アウトカム)	45% (R8.3時点)	84%

※実績については令和8年3月時点のものであり、今後変動する可能性あり。

連携団体

県内市町村及び県関係課と連携し、本事業の各種セミナーの広報及び参加促進を図る。

今後の課題

テレワークは自宅に居ながら仕事ができるというメリットがあり、セミナー受講のニーズは高いものの、県内において就業先の確保は限られてくる。

このため、今後の事業実施にあたっては、令和7年度委託業者等からの助言をもらいセミナーの実施内容を検討の上、テレワークに限定しない連続講座の検討をすることとしたい。

なお、受講者数についても、令和7年度定員を大きく上回る募集があり、抽選となったことから、定員設定も改めて検討する必要があると考える。

事業の概要

女性のための再就職支援事業

働きたい女性が再就職のために必要としている知識を提供すること、再就職への不安を解消することをテーマとするセミナーを実施し、離職していた女性のスキル向上を図り、再就職（就職）につなげることを目的とする。

① テレワーク入門オンラインセミナー

令和7年11月18日（火） 10：00～12：00
 対象者：再就職（就職）を考えている県内在住の女性
 実施方法：オンライン（Zoom）
 ※後日配信も実施
 参加者：141名
 実施内容：3部構成で実施。

- 第1部：テレワークのはじめかた
- 第2部：テレワークで再就職へのウォームアップ
- 第3部：質疑応答・座談会

② オンラインお仕事講座

令和7年12月16日（火）、12月23日（火）、
 令和8年1月6日（火）、1月13日（火）、1月20日（火）
 全5日（10：00～12：00）
 対象者：再就職（就職）を考えている県内在住の女性
 実施方法：オンライン（Zoom）
 ※後日配信も実施
 参加者：15名
 実施内容：①オンライン基礎講座
 ②ワード講座
 ③エクセル基礎講座
 ④エクセル応用講座
 ⑤生成AI基礎講座

セミナー・講座案内チラシ

結果・実績

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業 KPI	令和5年度女性のための再就職支援セミナー受講3か月後アンケート回答者のうち就労している者の割合	53.3% (アウトカム)	45% (R8.3時点)	84%

※実績については令和8年3月時点のものであり、今後変動する可能性あり。